



CITIZEN

2023年度（2024年3月期）
第3四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2024年2月13日

2023年度第3四半期業績概要

広報IR担当の古川です。
2023年度第3四半期決算につきまして、ご説明します。

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
売上高	2,301	2,388	+87	+3.8%
営業利益	210	234	+23	+11.3%
営業利益率	9.1%	9.8%	-	-
経常利益	244	274	+30	+12.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	196	206	+9	+5.0%
為替レート	¥135/USD ¥140/EUR	¥143/USD ¥154/EUR		

- 売上高 時計事業を中心に好調さを保ち、増収
- 営業利益 主に時計事業が全体を牽引し、増益

第3四半期累計期間の損益計算書の概要です。

売上高は、時計事業を中心に好調さを保ち、2,388億円と3.8%の増収となりました。営業利益は、主に時計事業が全体を牽引し、234億円、11.3%の増益となりました。営業利益率は、9.8%でした。

経常利益は274億円、12.4%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は206億円、5.0%の増益となりました。

2023年度第3四半期累計（4-12月） セグメント別業績推移

CITIZEN

売上高	2022年度	2023年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
時計事業	1,173	1,272	+98	+8.4%
工作機械事業	633	621	▲11	▲1.9%
デバイス事業	341	325	▲16	▲4.9%
電子機器他事業	152	169	+17	+11.3%
合計	2,301	2,388	+87	+3.8%
営業利益				
時計事業	157 (13.4%)	184 (14.5%)	+26	+16.9%
工作機械事業	84 (13.3%)	75 (12.1%)	▲9	▲10.9%
デバイス事業	▲1 (▲0.5%)	4 (1.3%)	+5	-
電子機器他事業	9 (6.4%)	13 (7.7%)	+3	+33.7%
消去又は全社	▲39	▲42	▲2	-
合計	210 (9.1%)	234 (9.8%)	+23	+11.3%

4

こちらはセグメント別業績の一覧です。

時計事業は、前年比8.4%の増収、16.9%の増益、営業利益率14.5%となりました。
 工作機械事業は、調整局面が続く中、1.9%の減収、売上減と部材のコスト高の影響などにより、10.9%の減益となりました。

デバイス事業は減収となりましたが、営業利益は黒字となりました。
 また、電子機器他事業は増収増益となりました。

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年同期比	
	3Q(10-12月)実績	3Q(10-12月)実績	増減額	増減率
売上高	824	859	+34	+4.2%
営業利益	86	98	+11	+13.8%
営業利益率	10.5%	11.5%	-	-
経常利益	76	100	+24	+31.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	70	73	+2	+3.6%
為替レート	¥144/USD ¥144/EUR	¥149/USD ¥160/EUR		

続いて、第3四半期、3ヵ月間の連結業績についてご説明します。

売上高は859億円、4.2%の増収、
営業利益は98億円、13.8%の増益、
営業利益率は11.5%でした。
経常利益は100億円と、31.7%の増益、
四半期純利益は73億円と、3.6%の増益となりました。

	2022年度		2023年度		前年同期比	
	3Q(10-12月)実績		3Q(10-12月)実績		増減額	増減率
売上高						
時計事業	439		487		+47	+10.8%
工作機械事業	224		207		▲17	▲7.7%
デバイス事業	112		103		▲9	▲8.5%
電子機器他事業	47		61		+14	+29.6%
合計	824		859		+34	+4.2%
営業利益						
時計事業	69 (15.9%)		82 (16.9%)		+12	+18.2%
工作機械事業	29 (13.0%)		22 (11.1%)		▲6	▲21.1%
デバイス事業	▲1 (▲1.7%)		0 (0.3%)		+2	-
電子機器他事業	2 (4.9%)		6 (10.2%)		+3	+171.7%
消去又は全社	▲12		▲13		+0	-
合計	86 (10.5%)		98 (11.5%)		+11	+13.8%

こちらは第3四半期のセグメント別業績です。

時計事業、電子機器他事業が増収となった一方で、工作機械事業、デバイス事業が減収となりました。

時計事業の営業利益率は前年比1%改善し、16.9%となりました。

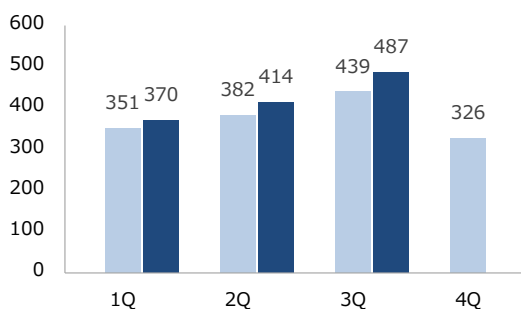
この後、事業別の概況を説明します。

第3四半期（10-12月）

- 完成品販売 国内市場が緩やかな回復傾向を維持した他、欧州市場も好調さを保ち増収
- ムーブメント販売 アナログクォーツムーブメントは伸び悩むも機械式ムーブメントは堅調に推移し、増収

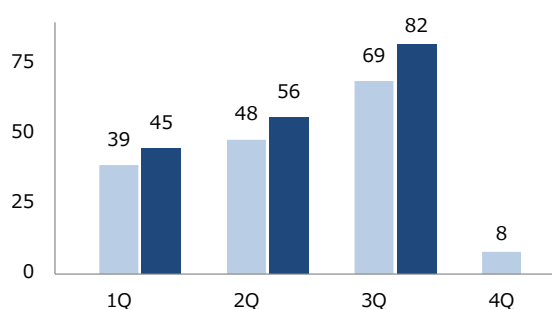
売上高(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



営業利益(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



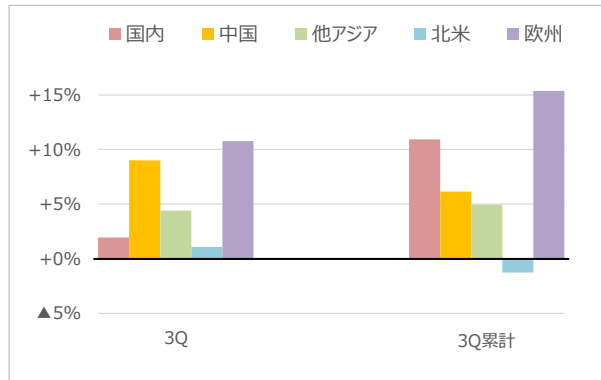
まず時計事業からご説明します。

完成品販売は、国内が引き続き緩やかな回復傾向を維持したほか、主に欧州が好調さを保ったことで、増収となりました。

ムーブメント販売は、アナログクォーツムーブメントは伸び悩みましたが、機械式ムーブメントが堅調に推移し、増収となりました。

前年同期比増減率（現地通貨ベース）

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減
その他の地域はCITIZENブランドのみの増減率



- 国内 個人消費は緩やかな回復に留まったものの『ATTESA』が好調に推移
- 中国 消費は依然弱いものの、前年のロックダウンからの反動により増収
- 他アジア 香港が軟調だった一方で、シンガポールなどでインバウンド需要が堅調に推移し、増収
- 北米 宝飾チェーン・百貨店等に慎重さが見られたが、EC販売が好調に推移し、微増
- 欧州 “TSUYOSA” Collectionなど機械式時計が牽引し、好調を維持

続いて、現地通貨ベースの地域別売上高、前年比較についてご説明します。

左のグラフが、第3四半期のみの数値となっています。

赤色の国内は、消費の回復は緩やかなものに留まりましたが、『ATTESA』などの中核ブランドが全体を牽引し、増収となりました。

黄色の中国は、消費マインドの低迷が続いているものの、前年のロックダウンからの反動増により増収となりました。

薄緑のアジア地域は、香港などが軟調だったものの、シンガポールなどでインバウンド需要が堅調に推移し、増収となりました。

水色の北米は、宝飾チェーンや百貨店等で仕入れに慎重な姿勢が見られましたが、EC販売が好調に推移したことで増収となりました。

薄紫色の欧州は“TSUYOSA” Collectionなどの機械式時計の好調が全体を牽引し、増収となりました。

『The CITIZEN』 デイト表示付 メカニカルモデル Caliber 0210

- 時間精度の長期持続性に優れるフリースプリング方式を用い、平均日差-3~+5秒を実現
- 美しくレイアウトされた輪列部品、部品精度や細部にまで施された仕上げが特長

The
CITIZEN



発売 : 2023年12月
価格 : 希望小売価格 880,000円(税込)
特定店限定モデル

9

プレミアムブランド強化に向けた取り組みとして、
CITIZENブランドの最上位モデル『The CITIZEN』の新製品をご紹介します。

新型高精度機械式ムーブメントCaliber 0210を搭載した、デイト表示付メカニカルモデルを販売開始しました。

時間精度の長期持続性に優れるフリースプリング方式を用い、平均日差-3~+5秒を実現しています。
高精度と審美性を両立させる設計思想に基づき、美しくレイアウトされた輪列部品、部品精度や細部にまで施された仕上げが特長の特定店限定モデルです。

『PROMASTER』ブランド誕生35周年 ブランド初となる本格的なメカニカルGMTが登場

- 2つのタイムゾーンの確認が可能なGMT機能を搭載
- ベゼルは航空機の機体のように丸みを帯びた形状にし、GMT機能を際立たせるデザイン



発売 : 2024年1月
 価格 : 希望小売価格 132,000円~137,500円(税込)

10

また、グローバルブランドとして強化を進めている『PROMASTER』は、今年、ブランド誕生35周年を迎えます。

この節目を記念して、『PROMASTER』初となるGMT機能を搭載したメカニカルウォッチを発売しました。

本格的なフライヤーGMT仕様となっており、2つのタイムゾーン確認が可能です。

■ “CITIZEN FLAGSHIP STORE NEW YORK” ニューヨーク 5 番街にオープン

- 2023年12月6日、北米にフラッグシップストアをオープン
- 「CITIZEN」を中心に、「BULOVA」、「ACCUTRON」、「Frederique Constant」、「Alpina」等、グループの主要ブランドを世界最大級のコレクションで展開



昨年12月、ニューヨーク5番街にフラッグシップストアをオープンしました。

「CITIZEN」ブランドを中心に、「BULOVA」、「ACCUTRON」、「Frederique Constant」、「Alpina」など、グループの主要ブランドを世界最大級のコレクションで展開するフラッグシップストアです。

世界中の人々が行き交うニューヨーク5番街という立地を生かし、ブランド発信を行っていきます。

■ 技能の継承や技術の向上

- 第61回技能五輪全国大会 金・銀・銅、敢闘賞を受賞
- 技能五輪への取り組みを通じて、腕時計の部品から完成時計の組立まで自社一貫製造できるマニファクチュールとして、技能の継承や技術者の技能向上を図る



「時計修理」職種 シチズン時計マニファクチャリング株式会社
金賞 川上健太 銀賞 小林真白 銅賞 山崎美空 敢闘賞 伊東愛渚

12

昨年11月に開催された、第61回技能五輪全国大会における「時計修理」職種で金賞を受賞し、あわせて銀賞・銅賞・敢闘賞も受賞しました。

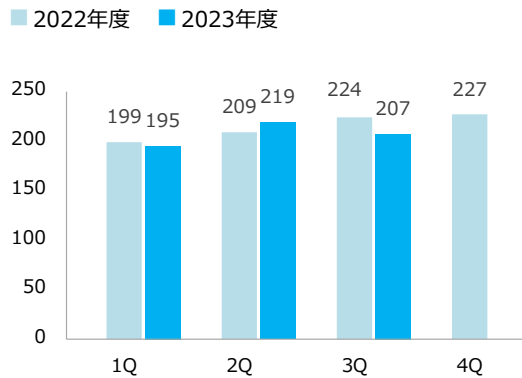
技能五輪全国大会は、23歳以下の技能者が、職種別に技能レベルの日本一を競う技能競技大会です。

当社は、部品から完成時計の組立まで自社一貫製造できるマニファクチュールとして、本大会への取り組みを通じて、技能の継承や技術の向上を図っています。

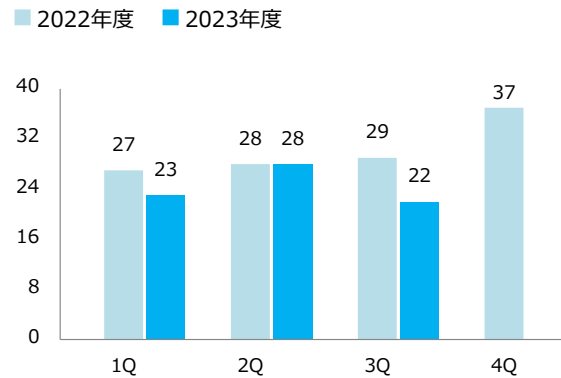
第3四半期（10-12月）

- 国内販売 設備投資への慎重姿勢が広がり、減収
- 海外販売 欧州・米州市場が堅調に推移したものの、中国・アジア市場の低迷が響き、減収

売上高(億円)



営業利益(億円)



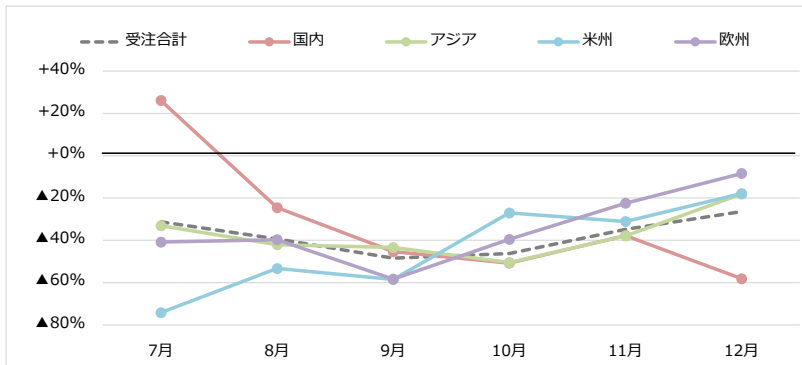
続いて、工作機械事業の第3四半期の業績概況をご説明します。

売上高は207億円、前年比7.7%の減収、営業利益は22億円、前年比21.1%の減益となりました。

国内販売は、建機や医療向けなどが堅調に推移したものの、設備投資への慎重姿勢が広がり減収となりました。

海外販売は、欧州や米州が堅調に推移したものの、中国・アジアの低迷が響き、全体では減収となりました。

前年同月比増減率（3カ月移動平均受注台数）



3Q前年同期比増減率（四半期受注台数）

- 受注合計 ▲26% 受注は2Qに底打ちし、回復に向け安定的に推移
- 国内 ▲58% 自動車関連を中心に設備投資への慎重姿勢が広がる中、全体として市況低迷が継続
- アジア ▲18% 先行き不透明感が強く市況は引き続き低迷
- 米州 ▲18% 景気後退懸念の高まりを受け減速傾向が継続する中、医療関連が下支え
- 欧州 ▲8% 設備投資意欲は限定的ながら、医療関連などが堅調に推移

こちらは、地域別の受注状況です。

折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均、前年同月比増減率を示しています。

下の表は第3四半期の前年同期比増減率を示しています。

受注合計は前年比26%減となりましたが、前の四半期と比較すると、24%増となりました。

受注は第2四半期に底打ちし、緩やかな回復しています。

地域別にみますと、

国内は、設備投資への慎重姿勢が見られる中、全体的に市況低迷が継続し、前年比58%減となりました。

アジアは、市況が引き続き低迷しており、前年比18%減となりました。

米州は、医療関連需要の下支えがありましたが、金利高の影響もあり、前年比18%減となりました。

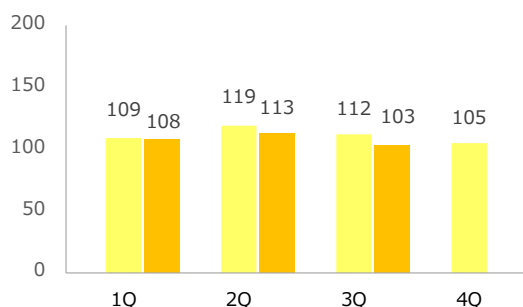
欧州は、インフレや景気後退懸念から設備投資に慎重な姿勢が見られ、医療関連などが堅調に推移したものの、前年比8%減となりました。

第3四半期（10-12月）

- 精密部品 自動車部品および小型モーターは増収
水晶デバイスをはじめその他の製品の低迷が響き、精密部品全体では減収
- オプトデバイス 照明向けLEDをはじめとした全体的な販売の落ち込みを受け、減収

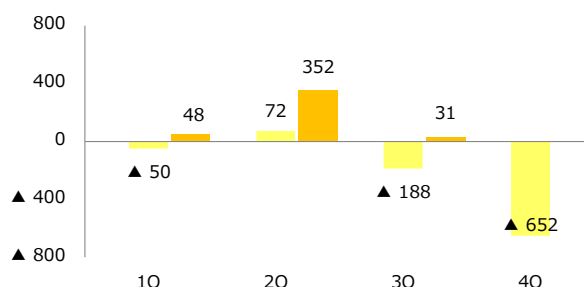
売上高(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



営業利益(百万円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



デバイス事業について説明します。

売上高は103億円と、前年比8.5%減となりましたが、営業利益は黒字を確保しました。

自動車部品は売上が回復傾向となり、また小型モーターは医療関連など幅広い分野の市況回復が寄与し、増収となりました。

一方で、水晶デバイスなど、その他の製品の低迷が響き、精密部品全体では減収となりました。オプトデバイスは、照明向けLEDなどの売り上げが回復せず、減収となりました。

2023年度下期及び通期連結業績予想

2023年度 下期及び通期連結業績予想

CITIZEN

- 連結業績予想及び配当金予想は前回予想(2023年11月13日)を据え置き

2023年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2023年度 11/13予想		2023年度 2/13予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,571	3,100	1,571	3,100	+0	+0	+0.0%	+0.0%
営業利益	114	250	114	250	+0	+0	+0.0%	+0.0%
営業利益率	7.3%	8.1%	7.3%	8.1%	-	-	-	-
経常利益	110	285	110	285	+0	+0	+0.0%	+0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	76	210	76	210	+0	+0	+0.0%	+0.0%
為替レート	¥145/USD ¥155/EUR	¥142/USD ¥153/EUR	¥145/USD ¥155/EUR	¥142/USD ¥153/EUR				

為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+9億円	+4億円
営業利益	+2.5億円	+2億円

17

連結通期業績予想は、11月13日に公表した数字から変更していません。

2023年度 下期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

CITIZEN

■ 前回予想(2023年11月13日)を据え置き
(単位：億円 / %：営業利益率)

	2023年度 11/13予想		2023年度 2/13予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高								
時計事業	874	1,660	874	1,660	+0	+0	+0.0%	+0.0%
工作機械事業	375	790	375	790	+0	+0	+0.0%	+0.0%
デバイス事業	198	420	198	420	+0	+0	+0.0%	+0.0%
電子機器他事業	122	230	122	230	+0	+0	+0.0%	+0.0%
合計	1,571	3,100	1,571	3,100	+0	+0	+0.0%	+0.0%
営業利益								
時計事業	94 (10.9%)	197 (11.9%)	94 (10.9%)	197 (11.9%)	+0	+0	+0.0%	+0.0%
工作機械事業	39 (10.6%)	92 (11.6%)	39 (10.6%)	92 (11.6%)	+0	+0	+0.0%	+0.0%
デバイス事業	▲2 (▲1.0%)	2 (0.5%)	▲2 (▲1.0%)	2 (0.5%)	+0	+0	-	+0.0%
電子機器他事業	12 (10.0%)	19 (8.3%)	12 (10.0%)	19 (8.3%)	+0	+0	+0.0%	+0.0%
消去又は全社	▲31	▲60	▲31	▲60	+0	+0	-	-
合計	114 (7.3%)	250 (8.1%)	114 (7.3%)	250 (8.1%)	+0	+0	+0.0%	+0.0%

18

セグメント別業績予想についても同様に、前回予想から変更しておりません。



CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

説明は以上となります。